

協働評価シート

事業名		かぶと虫のお家		実施年度	平成22年度
部局		経済部	課所	別子山支所	
団体等の名称		別子山の幸			
評価項目		評価者	評価	左の評価の説明	
相互理解	それぞれの特 性や立場を 理解し合え たか	お互いの特 性や立場を 十分に認 識、尊重し て、事業を 実施するこ とができ たかどうか を評価。	団体等	A	
			市	A	
			相互協議 結果	お互いの状況や立場を尊重し、事業を実施することができた。	
対等	双方が対 等の立場 に立って いたか	対等な立 場で協議、 事業実施が できたかど うかを評価。	団体等	A	
			市	A	
			相互協議 結果	対等な立場で協議し、事業が実施できた。	
自主	市民の自 動的な活 動が尊重 されたか	自主的活 動を十分に 活かして事 業効果を 増加させ たかどう かを評価。	団体等	A	
			市	A	
			相互協議 結果	自主的、かつ積極的な活動ができた。	
自立	市民の自 立化を阻 害しな かったか	依存体質が 助長される など、市民 の自立化が 阻害され ることが なかったか どうかを 評価。(新た な自発的 事業展開 につなが り自立化 が進んだ 場合はA 評価)	団体等	A	今回の事業経験を生かし、新たな事業を展開する計画である。
			市	A	市民の自立化を阻害することはなかったが、日程の関係上、会場の整備については市がほとんど行った。
			相互協議 結果	会場の整備の日程については、今後は十分協議を行って取り組みたい。	
目的共有	双方が協 働事業の 目的を共 有でき たか	協働事業 の目的は 十分に共 有して事 業実施が できたか どうかを 評価。	団体等	A	
			市	A	
			相互協議 結果	どちらも同じ目的の事業内容であったことから、協働事業の目的を共有できた。	

情報共有	双方がお互いの情報を共有できたか	情報を十分に共有しながら事業が実施できたかを評価。	団体等	C	情報を共有する協議が少なかった。
			市	B	同上
			相互協議結果		情報を共有する機会が少なかったため、一体感が少し足りなかった。
公開	双方の関係を十分に公開できたか	全て公開され、利便性も高いかどうかを評価。	団体等	A	
			市	A	
			相互協議結果		公開できた。
「相乗効果」が発揮され、独自で行うよりも効果的と認められるか		「相乗効果」が十分に発揮され、協働が効果的と認められるかどうかを評価。	団体等	A	
			市	A	
			相互協議結果		お互いの特性を生かし、相乗効果が発揮できた。
市民の関心や参加意欲を引き出す事業の展開がされたのか、		十分に市民の関心や参加意欲を引き出す事業の展開がされたかどうかを評価。	団体等	A	
			市	A	
			相互協議結果		市民の関心や参加意欲を引き出すことができた。

事業の目的、目標が達成されたか、どのような成果があったか等（自由記述）

団体等	会場をゆらぎの森に変更したことで、参加者数が増えた。また、会場の駐車場が広く、これまでの会場の駐車場がほとんどなかったので参加者の車で混雑していたが、今回はゆらぎの森の広い駐車場を有効に使用できた。
市	これまで1日限りのイベントであったが「別子山の幸」が「かぶと虫の家」を整備したことで、新しい手法で2週間の長期体験事業を実施できた。
相互協議結果	今後においては、情報を早期から共有し、協議をもっと重ねることにより、お互いの理解をもっと深めることができると認識した。